児童発達支援

（別添資料１）

事業所名　こぱんはうすさくら　春日部武里教室

# 支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年 2 月 1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。 | | | |
| 支援方針 | ・出来ることを一緒に伸ばし、出来ないことは一緒いトライ<br>・生きる力、表現できる力を育て未来へつなぎます<br>・自分らしくいられる場所となり、豊かな心に笑顔が宿り、共に夢を咲かせる支援をします | | | |
| 営業時間 | 10 時 00 分から 13 時 00 分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援　健康・生活 | ・来所時の健康チェックとご家庭との情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。<br>・お支度の時間は、基本的生活スキルの獲得を目指す機会と捉え、空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちを図ります。 | | | |
| 本人支援　運動・感覚 | ・集団プログラムの中で感覚あそびや運動あそびを取り入れ、楽しい！面白い！の中で、発達の土台を育むことに力をいれています。<br>・感覚の特性による困りごとや運動の苦手さは、集団における個別的アプローチにおいて、ご家族・ご本人・支援者が三位一体となって解決を目指します。 | | | |
| 本人支援　認知・行動 | ・【注意を向けること】【操作すること】【協調させること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やことばの基礎となる認知機能を育むことに力を入れています。<br>・行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援に取り組んでいます。 | | | |
| 本人支援　言語コミュニケーション | ・コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を育むことを大切にしています。<br>・集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別的課題には専門的側面から支援することを目指しています。 | | | |
| 本人支援　人間関係社会性 | ・事業所における関係性の中に安心の基地を置くことができ、遊びの中で社会性が促進できるよう支援します。<br>・自己や他者を理解し向き合うことに寄り添い、相互が心地よく過ごせる関係づくりを体得できるよう支援します。 | | | |
| 家族支援 | ・アタッチメント形成への支援<br>・きょうだいを含む家族からの相談に対する支援<br>・障害や発達の特性に配慮した家庭環境の整備 | | 移行支援 | ・保育所等への移行支援<br>・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援<br>・保育所等の併行利用先との連携<br>・地域における仲間づくりへの支援 |
| 地域支援・地域連携 | ・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 | | 職員の質の向上 | ・事業所内での研修の実施（本部研修を含む）<br>・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加<br>・強度行動障害支援者養成研修の受講 |
| 主な行事等 | 例）<br>・お買い物　・遠足　・運動会　・ハロウィンパーティ　・クリスマス会　・大掃除 | | | |

放課後等デイサービス　　（別添資料１）

事業所名　こぱんはうすさくら　春日部武里教室

# 支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年 2 月 1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。 | | | |
| 支援方針 | ・出来ることを一緒に伸ばし、出来ないことは一緒にトライ<br>・生きる力、表現できる力を育て未来へつなぎます<br>・自分らしくいられる場所となり、豊かな心に笑顔が宿り、共に夢を咲かせる支援をします | | | |
| 営業時間 | 10 時 00 分から 17 時 00 分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・来所時の健康チェックとご家庭との情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。<br>・お支度の時間は、基本的生活スキルの獲得を目指す機会と捉え、空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちを図ります。 | | |
| | 運動・感覚 | ・集団プログラムの中で感覚あそびや運動あそびを取り入れ、楽しい！面白い！の中で、発達の土台を育むことに力をいれています。<br>・感覚の特性による困りごとや運動の苦手さは、集団における個別的アプローチにおいて、ご家族・ご本人・支援者が三位一体となって解決を目指します。 | | |
| | 認知・行動 | ・【注意を向けること】【操作すること】【協調させること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やことばの基礎となる認知機能を育むことに力を入れています。<br>・行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援に取り組んでいます。 | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を育むことを大切にしています。<br>・集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別的課題には専門的側面から支援することを目指しています。 | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・事業所における関係性の中に安心の基地を置くことができ、遊びの中で社会性が促進できるよう支援します。<br>・自己や他者を理解し向き合うことに寄り添い、相互が心地よく過ごせる関係づくりを体得できるよう支援します。 | | |
| 家族支援 | ・アタッチメント形成への支援<br>・きょうだいを含む家族からの相談に対する支援<br>・障害や発達の特性に配慮した家庭環境の整備 | | 移行支援 | ・学校等への移行支援<br>・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援<br>・学校等の併行利用先との連携<br>・地域における仲間づくりへの支援 |
| 地域支援・地域連携 | ・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 | | 職員の質の向上 | ・事業所内での研修の実施（本部研修を含む）<br>・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加<br>・強度行動障害支援者養成研修の受講 |
| 主な行事等 | 例）<br>・お買い物　・遠足　・運動会　・ハロウィンパーティ　・クリスマス会　・大掃除 | | | |